

株式会社京都産業振興センター

第1 法人の概要

1 代表者

代表取締役社長 辻智之

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

3 電話番号

075-762-2633

4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/> (京都市勧業館)

5 設立年月日

平成5年4月27日

6 資本金

90,000千円 (うち本市出資額 54,000千円, 出資率 60.0%)

7 事業目的

京都市勧業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営, 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致ほか

8 業務内容

- (1) 京都市勧業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営
- (2) 京都伝統産業ふれあい館の管理 (公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携による。)
- (3) 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致

9 所管部局

産業観光局産業企画室 (TEL075-222-3325)

10 役員名等

(1) 取締役会長

上田誠 (産業観光局長)

(2) 代表取締役社長

辻智之

(3) 取締役

近藤健司, 兒島宏尚, 渡邊隆夫, 林史己, 大同一生, 坂本勝, 武田淳 (産業観光局産業企画室長)

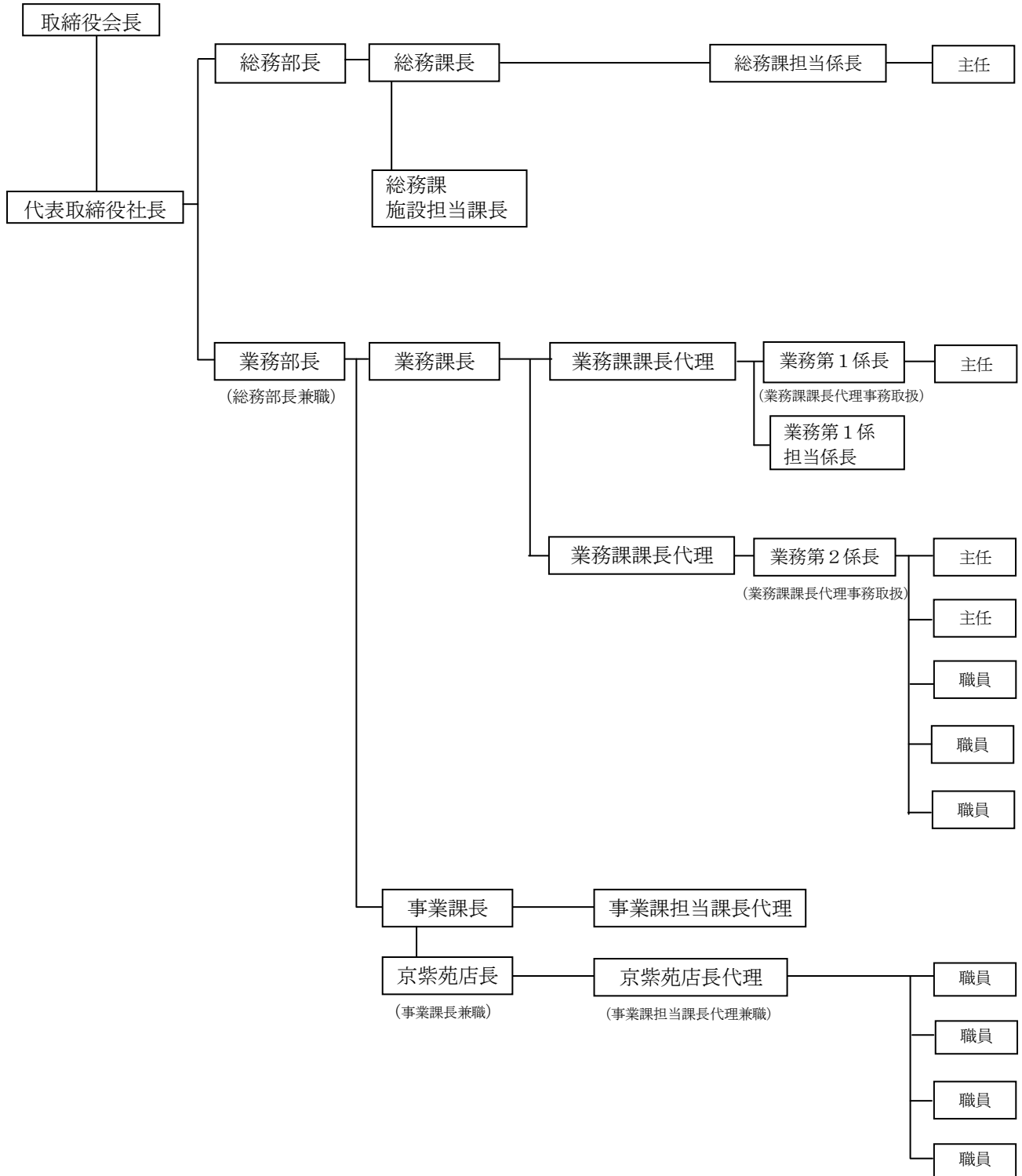
(4) 監査役

外村弘樹, 川越とし子

11 常勤職員数

21人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成29年度決算

(1) 事業報告

ア 京都市勸業館の指定管理

(ア) 展示場の利用状況

面積稼働率 55.12%, 利用件数 536件

(イ) 会議室の利用状況

稼働率 42.53%

イ 京都市伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」の運営

ミュージアムショップ「京紫苑」商品売上 51,814千円(消費税等除く。)

(参考) 京都市伝統産業ふれあい館の入館者数 179,098人

ウ 美術工芸ギャラリー(勸業館内)の運営

稼働延べ日数 472日(472日/716日), 稼働率 65.92%

エ 京都館の管理運営(受託事業)

(ア) 来館者数 230,174人

(イ) 情報コーナー利用者数 92,745人

(ウ) 物販売上 137,872千円(消費税等除く。)

(2) 財務諸表

貸借対照表 平成30年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[722,195]	流動負債	[204,610]
現金及び預金	692,070	買掛金	15,485
売掛金	964	未払金	100,748
商品	1,715	未払消費税等	7,500
未収入金	24,990	未払法人税等	180
未収還付法人税等	2,451	前受金	77,631
前払金	80	預り金	3,066
前払費用	38	固定負債	[24,941]
貸倒引当金	△113	退職給付引当金	21,941
固定資産	[23,593]	預り保証金	3,000
(有形固定資産)	(22,951)	負債合計	229,551
建物	12,338	純資産の部	
構築物	855	株主資本	[516,236]
器具・備品	7,461	資本金	(90,000)
その他の有形固定資産	2,296	利益剰余金	(426,236)
(無形固定資産)	(638)	利益準備金	180
電話加入権	306	付帯設備改善積立金	50,000
ソフトウェア	332	別途積立金	270,000
(投資その他の資産)	(4)	繰越利益剰余金	106,056
出資金	4	純資産合計	516,236
資産合計	745,788	負債及び純資産合計	745,788

損益計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
【経常損益の部】		
(営業損益の部)		
売上高		903,598
売上原価		339,369
売上総利益		564,230
販売費及び一般管理費		529,314
営業利益		34,916
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息及び配当金	469	
その他	7,642	8,111
営業外費用		
その他	1,032	1,032
経常利益		41,995
【特別損益の部】		
特別利益		0
特別損失		15,707
税引前当期純利益		26,288
法人税，住民税及び事業税		6,832
当期純利益		19,456

株主資本等変動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			繰越利益 剰余金		
			20周年 記念事業 積立金	付帯設備 改善積立 金	別途 積立金			
前期末残高	90,000	—	0	40,000	250,000	118,580	498,580	498,580
当期変動額								
剰余金の配当						△1,800	△1,800	△1,800
剰余金の配当 に伴う利益準備金の積立			180			△180	0	0
積立金の積立				10,000	20,000	△30,000	0	0
積立金の取崩							0	0
当期純利益						19,456	19,456	19,456
当期変動額合計	—	—	180	10,000	20,000	△12,524	17,656	17,656
当期末残高	90,000	—	180	50,000	270,000	106,056	516,236	516,236

2 平成 30 年度事業計画及び予算

(1) 経営指標

ア 勸業館

- (ア) 展示場 年間面積稼働率 53.0%以上
- (イ) 会議室 年間区分稼働率 43.5%以上
- (ウ) 美術工芸ギャラリー 年間区分稼働率 62.5%以上

イ ミュージアムショップ京紫苑

年間売上額 5,200 万円以上

ウ 京都市への納付額

年間 18,800 万円

(2) 事業計画

ア 利用率向上策

京都・大阪を中心とした近隣営業の強化に加え、2020 年オリンピック・パラリンピックイヤー前後での需要を見据えた首都圏営業を強化する。

(ア) 首都圏での商談会・展示会への参加

a 第 28 回国際ミーティングエキスポ (IME2018)

平成 30 年内開催予定 (詳細未定)

b ライブ・エンターテイメント EXPO

平成 31 年 2 月 27 日～3 月 1 日 (於 ; 幕張メッセ)

(イ) 長期滞在型営業

営業担当者が 1 週間首都圏に滞在し、抽出したターゲットに対し集中的に営業を実施する。

平成 30 年度の新規大型利用予定

- ・ 第 7 回臨床高血圧フォーラム (5 月)
- ・ 全国特別支援高等学校 PTA 連合会 (8 月)
- ・ 第 6 回 SPARC General Assembly (10 月)
- ・ 第 149 回日本歯科保存学会 2018 年度秋季学術集会 (11 月)
- ・ 第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 (11 月, ロームシアター併用)
- ・ 第 10 回国際ペプチドシンポジウム (12 月, ロームシアター併用)

イ イベントサポート・サービス事業

単なる貸館業務だけでなく、施設利用者の多様なニーズに対応するため、当社社員が催事運営の企画・提案を行い、イベント等の魅力を最大限に引き出せるよう、きめ細かなサポート・サービスの提供を行っていく。

ウ 美術工芸ギャラリー事業

良好な施設環境と廉価な使用料であることを広く周知し、更に多くの方に利用されるよう努める。また、使っていただきやすいように割引制度を継続し、岡崎からの芸術文化発信拠点となるよう努める。

エ レストラン事業

増加する観光客を取り込むために、季節感のある料理の提供やメニューの改善を進める。

また、春秋にはレストラン北側の広場でオープンカフェを実施するとともに、「Live Square @MIYAKOMESSE」では屋台を出してイベントを盛り上げる。

オ ミュージアムショップ京紫苑

買い上げ額の 3 割以上を占める外国人観光客に向けた商品展示、商品開拓を行い商機を逃さないようにする。

また、タクシーなど観光関連事業と連携した PR を実施し、売上の向上に努める。

(3) 自主事業

ア 桜まつり

春らしい茶菓と音楽を提供し、地元の方や観光客の皆さんにゆっくりと春のひと時を楽しんでいただく（平成30年4月7日実施）。

イ みよこめっせ「経済産業講演会」

地下1階の第1展示場において、経済評論家の高橋洋一氏の講演会を開催（定員300名、平成30年6月29日実施）。

ウ わくわく電車王国

平成26年度から開催し、親子を中心に多くの方々にお越しいただき好評を博している。昨年度は、これまでで最高の入場者数を記録することができた。今年度は5回目となるため、さらにパワーアップして実施する。期間は、会場となる第2展示場の一般利用が無い8月の10日間程度とする。

入場者目標（全期間） 21,000人

エ かがやきめっせ

京都岡崎魅力づくり推進協議会が毎年秋に開催する「岡崎ときあかり」に合わせて実施する。みよこめっせのライトアップと、秋に相応しいコンサートを開催し、岡崎の活性化に尽力する（平成30年9月実施）。

オ 京ものフェスティバル

「京都市伝統産業の日」に合わせ、伝統工芸品の展示や、京都の老舗が多数出店する物産展を開催（平成31年3月実施）。

カ みよこめっせウェルカムプラン

修学旅行生等を対象とした伝統工芸品の製作体験。旅行会社の協力を得て実施する。

キ Live Square @MIYAKOMESSE

みよこめっせ中央広場において、若手ミュージシャンやパフォーマーのライブを実施し（月2回程度）、二条通の賑わいづくりに貢献する。

ク ウインターイルミネーション

みよこめっせの建物や前庭にイルミネーションを設置し、二条通の賑わいづくりを行う（平成30年12月～翌31年2月）。

ケ 中小企業対象ビジネスマッチング

関係団体へのアプローチを含め、実施への検討を進める。

(4) その他の取組

ア 社員研修

社員の意欲、能力の向上を目指して社員研修を計画的に進める。

(ア) 全体研修（語学研修・教養研修）

(イ) 管理監督者研修

(ウ) 業務研修

(エ) 自己研修

(オ) 業績評価シートによる評価制度の導入

イ 第三者機関による経営評価の実施

外部の第三者専門家の意見を経営に反映するため経営評価委員会を設置しており、平成30年度も同委員会を2回開催する予定。

(5) 予算

予定損益計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
【経常損益の部】	
(営業損益の部)	
売上高	700,700
売上原価	239,600
売上総利益	461,100
販売費及び一般管理費	451,000
営業利益	10,100
(営業外損益の部)	
営業外収益	9,800
営業外費用	400
経常利益	19,500
【特別損益の部】	
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期純利益	19,500
法人税, 住民税及び事業税	0
当期純利益	19,500

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
損益計算書	売上高	851,518	937,683	903,598	700,700
	経常利益	25,807	61,601	41,995	19,500
	当期利益	17,626	34,363	19,456	
	減価償却前利益	22,749	39,932	26,131	
貸借対照表	総資産	659,179	743,969	745,788	
	総負債	194,962	245,389	229,551	
	純資産	464,217	498,580	516,236	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	「京都館」管理運営	54,630	54,630	47,838	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、京都館の廃止、京都市美術館の再整備に伴う一時休館の影響による駐車場収入の減少などにより、売上高、純利益ともに平成28年度を下回る水準となった。しかし、こうした状況下にあっても、催事運営面でのサポート体制の整備や、魅力あるイベントの開催等といった経営努力を重ね、京都市勧業館の稼働率においては、開業2年目に次ぐ実績を残した。 また、開館20周年を記念した株式配当を実施するなど、大いに評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、京都市勧業館において、大型の学術会議の開催や、京都市美術館で行われてきた催事の取り込みなどに成功し、開業2年目に次ぐ稼働率を達成した。 また、京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業では、外国人観光客への周知が奏功し、免税売上高実績が平成28年度比35%の伸びを示した。 このほか、「電車王国 in みやこめっせ」や「ウインターイルミネーション」などの事業にも積極的に取り組み、岡崎地域の賑わい創出にも貢献している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 入居していたビルの閉館により、平成30年3月に東京におけるアンテナショップである「京都館」を閉館した。閉館に伴う減収や経費発生もあり、平成29年度は減収減益となっているが、黒字は維持しており収益力自体に問題はない。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な会議の誘致に成功するなど、施設稼働率は向上しており、積極的な営業の成果が出てきている。引き続き、顧客の獲得に向けた取組を継続してほしい。